

農大 NOW

令和4年度版

令和5年3月13日発行

大分県立農業大学校

〒879-7111 大分県豊後大野市三重町赤嶺2328-1

TEL : 0974-22-7581 FAX : 0974-22-6387

E-mail : a15230@pref.oita.lg.jp

ホームページ : <http://www.pref.oita.jp/site/140/>

Facebook :

<https://www.facebook.com/ooitnouidai>



育心
～ 実り豊かな「農」と「人」～

農にはばたく ~熱い思いと希望を胸に~

農大の思い出

とまかわ はると
筈川 陽斗 (総合農産科 水田・野菜コース 水田・露地野菜クラス)

私は親戚の農家の手伝いをよくしていたため農業に興味を持ち、農大に入学しました。高校は普通科だったので、農業機械の使用や農薬の散布は初めての経験でした。特に約1年半かけて行うプロジェクトは高校で行ったプロジェクトと違い、自分の選んだ作物を自らの手で栽培し、収量計算やたんぱく質含量調査など、より専門的な調査を行うため、かなり苦勞しましたが、とても良い経験になりました。その他にもトラクターの大特免許やけん引免許、農薬指導士などの資格講習があり、卒業して農業に役に立つ様々な資格を取得でき農大に入って得るものが多くありました。

私は2年の時に学生会の副会長として、農大祭や他県の農大とのスポーツ大会の企画を行いました。このような役に付くのは初めてで最初はうまくいか不安でしたが、様々な人とのつながりやコミュニケーション能力を培うことができたので良い経験になりました。

卒業後私は地元の法人で働くため、農大での2年間の経験を生かして頑張りたいと思います。先生方や職員の皆さん、2年間様々なことを教えていただきありがとうございました！



スタートライン

うえき しょうや
植木 翔也 (総合農産科 水田・野菜コース 野菜クラス)



私は家業の農業を継ぐために農大に入りました。農大入学前の私は、家での農作業を少し手伝う程度で、農業について何も知らず、野菜を作る程度の認識しかありませんでした。しかし、農大に入学し授業や実習をしていく中で、だんだんと農業の楽しさや経営の難しさを実感でき、家業を継げるような人に大きく近づけたと思います。

プロジェクト研究では、いちご「ベリーツ」を選択しました。いちごを栽培したことがなく、病害虫対策や適切な管理など大変なことが多かったですが、果実を収穫したときの喜びはとても大きかったです。また、栽培管理だけでなく大玉果を利用した商品開発など、経営面での知識も広がりました。

卒業後は、農業法人で社会経験を積んだ後、家業を継いで経営者として一人前になれるよう頑張りたいと思います。

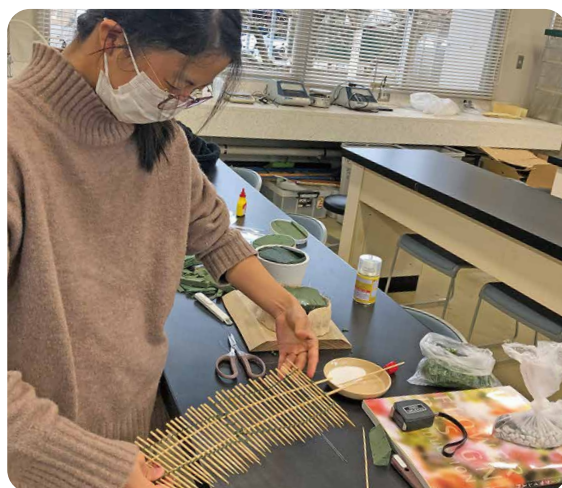
農大の思い出

かんだ わかな
神田 若央 (総合農産科 花きコース)

私の家は兼業農家で父と祖父が水稻栽培をしています。私は小さい頃から花が好きだったので、花きコースを専攻しました。入学する前に父と話し合って初めは野菜を専攻していましたが、高校の時は草花を習い大学校でも花を学びたいという気持ちがあった為、花きコースに変更しました。農大では大型特殊免許とフラワー装飾検定3級を取得できました。

プロジェクトでは千日紅とニゲラの染色試験と価格調査、ホオズキの大分小実系統の栽培試験を行いました。染色試験では千日紅は去年の2倍の価格が付き、キャンディー千日紅として売ることができました。ニゲラは染色、未染色とも価格は変わりませんでしたが、価格も安定し市場からの需要も多いことが分かりました。栽培試験をしたホオズキは着色不良で出荷できないものが多かったので残念でした。

卒業後はお茶を生産している法人に就職します。花きとは違いGAPの知識が必要となりますが、農大での2年間の経験を生かして新たなことに挑戦し頑張りたいと思います。



カボしい未来

あなん ゆうき (総合農産科 果樹コース)
阿南 雄己

我が家の本業は農家ではありませんが、副業として父が椎茸栽培に取り組んでいます。将来的に私は農業経営をはじめたいと思ったので、普通科高校出身ですが農業大学校を志望しました。

本校に入学してから、かつて祖父母が栽培し馴染みがあったカボスについて詳しく学ぶことに決め、プロジェクト研究に着手したのです。校内でハウス栽培や貯蔵ものをたくさん果実分析するとともに、県内のベテランカボス生産者にお話をうかがう機会に恵まれました。

2年次には学校に隣接する大分県農林水産研究指導センターさこのグループで実践的な研修を受講できたおかげで、農林業経営に必要な知識と経験を積み重ねることもできました。

この学校ならではの検定や資格を数多く取得したので、春からは自信をもって由布市で椎茸栽培を開始します。それが軌道に乗れば農地を取得して本格的にカボス栽培にチャレンジする覚悟です。



資格取得でスキルアップ

どうじょう かんた (総合畜産科)
銅城 敢大



私は、学校実習助手への就職を希望し、受験資格を得るために本校へ入学しました。高校卒業後すぐの入学ではありませんでしたが、進路先を明確に決めていたので、真摯な気持ちで全ての講義科目等を受講しました。

また、トラクターやけん引、車輻系建設機械、フォークリフト、アーク溶接、ガス溶接、家畜人工授精師など複数種の資格も取得できました。大型トラクターを自ら操作し、播種、耕起、収穫をおこなう牧草づくりは、週間天気を気にしながら段取りを組み、スピード感を持っておこなった実習でした。

私は酪農担当でしたので、毎日の個々の牛の泌乳量の変化や、採食状況を見ることで、観察力が鍛えられたと思っています。また、生乳という畜産物を出荷することで、安全な食品を提供するために必要な農業生産管理工程についても学ぶことができました。

4月から農大で身につけた畜産の知識をいかせる就職先で働けることを嬉しく思っています。

2年間頑張りました

もり た りゅうや (総合畜産科)
森田 竜也

高校2年生の時、実家の畜産経営に加わりたくて、農大へ進学することを決めました。しかしながら、工業系の高校を卒業した私は、畜産の専門用語が分からず講義の内容を理解するのに苦労しました。

繁殖経営で必要となる家畜人工授精師の資格取得に向けて、先生に丁寧に教えていただき私も必死に勉強し合格することができました。

子牛の発育改善をめざして取り組んだプロジェクト課題は、緊張しながら九州大会で発表ができ、良い思い出ができました。

また、昨年は5年に一度の全国和牛能力共進会があり、本校で生まれた雌子牛も全国大会出場をめざしました。約6ヶ月間、えさ管理を念入りにし、夏場の暑いなかも1日2時間近くの調教に励みました。残念ながら、県最終予選で敗退しましたが、地域の生産者の方々、和牛登録協会、農協、家畜保健衛生所の方々から牛の見方を習うことができました。

農大で学んだ多くのことを時々思い出しながら、立派な畜産経営者になれるよう、4月から実家で頑張ります。



感謝

たぐちはるき
学生会長 田口 晴基

役員の間たちと共に、無事に令和4年度学生会の役を終えることができました。学生、職員の皆様のご協力に感謝します。

今年度も、新型コロナウイルスの影響で入学式は2年生との接触を避けた形の開催となりましたが、5月に行われた九州地区農業大学校スポーツ交歓大会は無事参加することができました。

11月の農大祭では、前年度に引き続き花火を打ち上げました。また、役員や実行委員と話し合い「以前のような賑わいを取り戻したい」「学校関係者や地域の方々に感謝の気持ちを伝えたい」と思い、初の試みとしてキッチンカーを企画しました。三重総合高校神楽部の皆さんが「五穀舞」でお菓子をまくと、それに子ども達、親御さん、地域の方が笑顔で集まっているのを見て、とても嬉しかったです。

今年度の学生会活動は、感染防止を徹底することにより、去年できなかった一部の学校行事を実施することができました。本当にありがとうございました。



令和5年2月に選挙を行い、新しい学生会長を決定しました。新役員の皆さんには、僕たちがやり残した事や、やりたくても手が届かなかった事をぜひ実現してもらいたいと思います。

最後に、私たちが貴重な学生生活を送ることができたのは、先生方、後援会をはじめとした保護者等の方々のご指導や励まし、そしてお世話になった農家の方々や地域の皆様の温かいご支援があったからです。心から感謝いたします。

今後は、本県の農業を担う一人として、大分県立農業大学校のさらなる発展を願うとともに、プロの担い手が育つ魅力的な学校となるよう後輩たちの頑張りを応援したいと思います。皆様には引き続き、本校および農大生に対するご指導、ご協力をお願いいたします。

～農大の一年 充実した学園生活～



令和4年度 農大生の活躍

学生フラワーデザインコンテスト

「第14回 めじろんカップ」大分県知事賞(第1位)獲得!!

日本フラワーデザイナー協会大分県支部主催の「第14回めじろんカップ」が開催され、本校から8名の学生が出展しました。このコンテストは、作品の70%以上を生花で彩り、自由な形態で植生的なものや装飾的な作品を制作するもので、今年のテーマは「flower power」でした。

タイトル「喜び」をスイートピー、バラ、フリージアを使って表現した総合農産科花きコース1年の芦田萌さんが全体の1位となる大分県知事賞を獲得し、他6名も各賞に入賞しました。



県知事賞を受賞した芦田萌さん



出展者と作品

大分県初開催

「フラワーランウェイ in パークプレイス大分」に出場

プロのフローリストが、学生のモデルに大分県産の花を中心に飾り付け、ランウェイを歩くファッションショーが大分県で初めて開催されました。本校からは総合農産科花きコース1年の田部玲也さんが出場しました。

本校が技術開発した染色ハボタン「プリンセス・リーフ」を中心とした衣装をまとい、大勢のお客さんが見守る中、緊張しながらも堂々とモデルウォーキングを披露しました。



出場した田部玲也さん(右)

農産物販売 「みどりの風」

暑さや寒さに負けず、6月から翌年の2月まで、学生が丹精込めてつくった自慢の野菜や果物、花などの校内販売を行いました。

また、県農林水産祭やOABマルシェなどのイベントへの参加で、多くの消費者とふれ合い、様々な意見を聞くことができました。



校内直売所

2年間の集大成 ～プロジェクト・意見発表会～

各学科・コース代表12名の学生がプロジェクト学習の成果や日頃の想いについて発表する、校内プロジェクト・意見発表会を令和4年12月15日にエイトピアおおので開催しました。その結果、プロジェクト発表は、総合畜産科2年の森田竜也さんと総合農産科水田・野菜コース野菜クラス2年の植木翔也さん・竹原志門さんの発表課題が、また、意見発表は総合農産科花きコース1年の大田海輝さんが本校の代表に選ばれ、令和5年1月18日～19日に大分県で開催された九州地区農業大学校プロジェクト・意見発表会に出場しました。



「いちご「ベリーズ」はどこまで大きくなるのか？ 一果サイズの限界に挑む」と題して発表する
総合農産科水田・野菜コース野菜クラス
2年の竹原志門さん



「夏秋トマト隔離床栽培における補光資材の効果検証」と題して発表する
総合農産科水田・野菜コース野菜クラス
2年の秋好理央さん・河野将也さん



「「おおいた早生」の誘引垣根仕立て栽培における断根処理の検討」と題して発表する
総合農産科果樹コース2年の宮本幸人さん



「早期去勢が及ぼす子牛への影響」と題して発表する
総合畜産科2年の梶原拓野さん



意見発表者のみなさん



プロジェクト発表者のみなさん

3年ぶりの対面開催 九州地区農業大学校プロジェクト・意見発表会 in 豊後大野市

九州地区農業大学校プロジェクト・意見発表会が3年ぶりに対面開催として大分県で行われました。本校からはプロジェクト発表に森田竜也さん、意見発表に大田海輝さんが練習成果を発揮し堂々とした態度で発表をやり遂げました。

また、発表会の運営を本校の学生が担当し、他県の参加者から高い評価をいただきました。



開会のことば（学生会の久保田知晏さん）



「「昨日まで世界になかったもの」への挑戦 ～ 兄のプロジェクト研究が残した課題を紡ぎ、大田農園の可能性を広げる～」と題して発表する
総合農産科花きコース1年の大田海輝さん



「おおいた和牛の生産をめざした飼料給与技術の検討（人工乳の採食量を増やし増体を高める）」と題して発表する
総合畜産科2年の森田竜也さん

活躍する卒業生・期待される農大生

期待する人材について

大分県農業法人協会 会長 上原 隆生



「農業を盛り上げ稼げる産業に」。そう思い、本協会でも様々な活動や経営課題について議論を行っています。

そこで共通事項としてあがる課題が「人材」です。

農業に限らず経営者は、新卒採用活動でこれまでの実績や技能以上に「期待値」を見極めています。期待値とは何か。私は「目的を設定し努力をし続けられるか否か」だと考えます。結果のための努力を続けられるか。自ら学び続ける姿勢を持てるか。それを見ています。

農大生の皆さんは、目的を持った努力と失敗の経験をたくさん積んでください。そこで得られた経験と努力の習慣が社会で生きる上であなたの価値になります。

農大は、学生の自主的な目標設定及び努力ができる環境であってほしい、学生から社会人になる成長ステージであってほしい、と期待を寄せるとともに、我々大分県農業法人協会も惜しみなく支援していきます。

ビジネスを、未来を創り上げるのは「人」です。共に農業を盛り上げていきましょう。

卒業から10年…

大分県農業青年連絡協議会 会長 大塚 勇太

私は臼杵市野津町で両親とともに葉たばこを栽培しています。もともと両親が葉たばこの専業農家を営んでおり、将来経営を継ぐための基礎を学びに農大へ入学しました。

農大では、実家の農繁期に重ならない施設園芸のトマトを専攻し、裂果軽減の研究をしました。寮長なども経験し、破天荒な学生をまとめるのに苦労したことも今ではよい思い出です。そのお陰で、県内に多くの仲間がいるのは嬉しい限りです。

卒業後は、親の仕事を覚えながら、地元の農業青年組織「SOIL」に入会し、自己研鑽や地域振興に励みました。それから早10年。現在では、両親から経営を継承し、毎日が試行錯誤の連続です。

また、令和4年度から大分県農業青年連絡協議会の会長になり、県内の若手農業者の成長や繋がりに関わる事業を行っています。これからも組織活動を通じ、大分県農業の発展と魅力向上に努めていきます。

しかしながら、一農家としてはまだまだなので、経営力をもっと磨き、安定した生産現場を作っていきたいと思います。そして、素敵なお妻を見つけ、温かい家庭を築いていきたいです。



翡翠色に輝く人生

河野 嘉徳

私は平成27年から2年間果樹コースに在籍し、プロジェクトではハウスミカンの垣根仕立てに取り組みました。家業を継ぐために農大卒業後は小豆島で1年間研修し、農業法人に2年間勤めたのち、国東市の実家に戻って両親とともにオリーブ栽培を開始して3年になります。

当初は台風による倒木や病害虫被害が重なり、思いどおりに育てることができませんでした。そのため、小豆島の師匠や地元の生産部会の方にアドバイスをいただき、この土地に合った



栽培法を試行錯誤してきました。

その甲斐あって、令和4年には国際オリーブオイルコンテストにて自社製品が金賞を受賞。さらに、農業青年のプロジェクトグランプリ発表会では最優秀賞をいただき、まさに飛躍の年になりました。

今の私があるのは農大で教わった先生方、小豆島の師匠、地元の同志の支えがあったからに他なりません。これからは皆様のご恩に報いるために、オリーブオイルを使った料理の試食会や新レシピ開発、栽培マニュアルの作成に取り組んで、国東オリーブ産地の活性化に貢献したいと思います。

編集後記

「農大NOW」は平成6年3月に第1号が発行され、今回の令和4年度版が第30号となります。名前となっている「NOW」ですが、これはN：のびる、O：おもしろい、W：わかりやすい農業教育を実践する本校の今（NOW）を伝えていこうという意味が込められています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、海外研修を始めとする多くの行事が中止となってしまいました。こうしたなかであっても、学生達は充実した学校生活を送ってきました。今回の「農大NOW」でその一端に触れることができたら幸いに思います。

卒業後の学生たちのご活躍を期待しています。



一路順風

校長 宇都宮 隆一

大分県立農業大学校第31期卒業生の皆さん、新たな道に進まれる門出を心からお祝い申し上げます。また、父母等の皆様にもお慶び申し上げます。

卒業される皆さんは、「進取研鑽」「実践創造」「友愛協調」の校訓のもと、多くのことを学び、貴重な体験をしました。全寮制の生活は、多くの仲間をつくり、友情を深めました。

いよいよ将来を自らの手で切り開いていく時間が始まります。本校でのたくさんの経験を礎に、次なるステージで大いに羽ばたくことを期待しています。

これからも母校農業大学校は皆さんを応援しています。

私たち 郷土に生きる

自らの選択

農学部第31期卒業生の進路決定状況は下のグラフのとおりです。卒業後、即自営を行う者、農業法人や農業関連団体等に就職する者の割合が約82%となっています。

また、各種資格取得や免許に関する学習を全学生対象に実施していますが、多くの学生が資格や免許を取得しています。取得状況は右表のとおりです。

令和4年度 卒業生34名の進路状況

2月28日現在

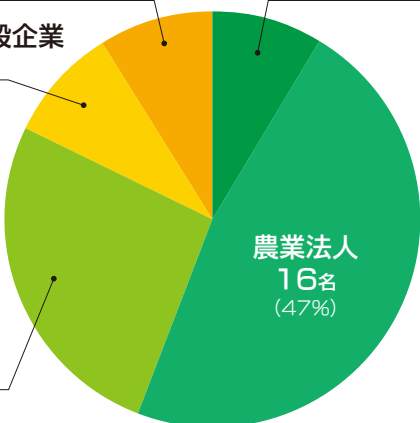
進学・研修
3名(9%)

農業自営
3名(9%)

公務員・一般企業
3名(9%)

農業関連
9名(26%)

農業法人
16名
(47%)



卒業生の進む道

(令和5年2月28日現在)

卒業生の資格・免許取得状況(1・2年次通算)	取得者数
大型特殊免許(農耕車限定)	32
けん引免許(農耕車限定)	28
小型車両系建設機械運転特別教育	17
車両系建設機械(整地等)運転技能講習	9
フォークリフト運転技能講習	18
ボイラー取扱技能講習	20
ガス溶接技能講習	22
アーク溶接作業特別教育	18
日本農業技術検定2級	4
日本農業技術検定3級	13
家畜商講習修了証	2
家畜人工授精師免許	7
フラワー装飾技能検定3級	2

卒業後の進路 (直近3年間、順不同)

- 農業法人等** 自営就農 農事組合法人JOフーズ 農事組合法人中園 営農組合 株式会社本川牧場 キングラン株式会社 JA北九州ファーム株式会社 株式会社奥松農園くにさき 有限会社三本松 種鶏場 キュウセツAQUA株式会社 株式会社匠牧場 有限会社福田農園 社会福祉法人新友会 株式会社創 J.R九州ファーム株式会社 有限会社フラワーうさ 小川香料株式会社 株式会社らいむ工房 名水美人ファクトリー株式会社 農事組合法人グリーンアース 合同会社大塔農産 株式会社中津もぎたてファクトリー 大分佐伯ファーム株式会社 有限会社長谷雄 牧場 ツールパファーム株式会社 株式会社真玉キャトルファーム 株式会社よこやま大動物病院 有限会社釘宮牧場 株式会社スギモトファーム やりみず農園 農事組合法人カヤノ農産 株式会社おおやま夢工房 コルディアレ大分農場 株式会社リアライズ 株式会社エー・ワン 株式会社アグリハート 有限会社豊後大分有機茶生産組合 FROGSFARM株式会社 株式会社未来農林 株式会社石和田産業 有限会社鈴木養鶏場 株式会社ドリームファーマーズJAPAN
- 農業団体等** 大分県農業協同組合 大分大山町農業協同組合 株式会社大分県畜産公社 公益社団法人農業公社やまくに
- 農業関連企業** 株式会社中九州クボタ ヤンマーアグリジャパン株式会社 キクチ種苗株式会社 大三ミート産業株式会社
- 進学** 東海大学 愛媛大学 大分高等技術専門学校 タキイ研究 農場専門学校 豊後高田市アグリチャレンジスクール
- 公務員** 大分県職員(農業技術員)



就職相談会(会社概要説明)